

# 29A

## 坊っちゃん (1)

氏名

組

番

得点

50

1 次の——線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。

(各2点×8)

- (1) 内緒ないしょで買ったお菓子かしをカクかしておく。
- (2) オソおろしい夢を見る。
- (3) 大好きな音楽を何度もクくり返し聴きく。
- (4) スすました顔で返答する。
- (5) 明日、祖父と一緒に相撲相撲を見に行く。
- (6) 正月には着物を着て白い足袋足袋をはく。
- (7) 彼かれが首謀者しゅぼうしゃに相違相違ない。
- (8) 右手の甲あしを柱はしらにぶつけてけがをする。

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

2 次の——線部の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

(各4点×4)

- (1) 無鉄砲むてっぽうなのは親譲おやずりだ。
- ア 向こう見ず
- イ 几帳面きちょうめん
- ウ 楽天的
- エ 消極的
- (2) 助からないと観念くわんねんする。
- ア 覚悟かくごする
- イ 理解する
- ウ 予想する
- エ じたばたする
- (3) 歌唱力にはいささか自信じゆんがある。
- ア 少し
- イ 以前いぜんから
- ウ 近頃ちかごろ
- エ 時おり
- (4) 名門めいもんの家が零落れいらくする。
- ア さかんになる
- イ ひかえめになる
- ウ 身近みぢかになる
- エ おちぶれる

(4)	(3)	(2)	(1)

3 次の——線部の語句の意味を答えなさい。

(各6点×3)

- (1) むやみな約束やくそくはしない。
- (2) むろん出かけるつもりだ。
- (3) 立身出世たしんしゅっせを夢見る。

(3)	(2)	(1)

# 29<sub>B</sub>

## 坊っちゃん (1)

氏名

組番

得点

50

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

清が物をくれるときには、必ずおやじも兄もいないときに限る。俺は何がきらいだといって、人に隠れて自分だけ得をするほど、きらいなことはない。兄とはむろん仲がよいけれども、兄に隠して清から菓子や色鉛筆をもらいたくはない。なぜ、俺一人に連れて、兄さんにはやらないのか、と清にきくことがある。すると清は澄ましたもので、お兄さまはお父さまが買ってあげなざるからかまいませんと言う。これは不公平である。おやじは頑固だけれども、そんなえこひいきはせぬ男だ。しかし清の目から見ると、そう見えるのだらう。全く愛におぼれていたにちがいない。元は身分のある者でも、ばあさんだからしかたがない。単にこればかりではない。ひいき目は恐ろしいものだ。清は俺をもって、将来立身出世して立派な者になると思込んでいた。そのくせ勉強をする兄は色ばかり白くって、とても役には立たないと、一人で決めてしまった。こんなばあさんにあつてはかなわない。自分の好きな者は必ずえらい人物になって、きらいな人はきつと落ちぶれるものと信じている。俺はそのときから、べつだん何になるという見もなかった。しかし、清がなるなると言うものだから、やつぱり何かになれるんだらうと思っていた。今から考えると、ばかばかりい。あるときなどは、清にどんな者になるだらうと聞いてみたことがある。ところが、清にもべつだんの考えもなかったようだ。ただ手車へ乗って、立派な玄関のある家をこしらえるに相違ないと言った。それから清は、俺がうちでも持って独立したら、いっしょになる気でいた。どうか置いてくださいと何べんも繰り返して頼んだ。俺も、なんだかうちが持てるような気がして、うん置いてやると返事だけはしておいた。

(夏目漱石『坊っちゃん』)

問一 線①「全く愛におぼれていたにちがいない」とありますが、誰が誰に対しての「愛におぼれていた」のですか。文中から書き抜きなさい。(完答10点)

が  に対して

問二 線②「これ」が指す内容を次のうちから選び、記号で答えなさい。(10点)

- ア 清が兄に隠れて「俺」に物を与えること
- イ 父が兄にばかり物を買ってやること
- ウ 父は頑固だが、えこひいきはしないこと
- エ 清がもうばあさんになってしまったこと

問三 線③「立身出世して立派な者になる」とはどうすることだと、清は思っていますか。文中から二十二字で探し、初めと終わりの三字を書き抜きなさい。(完答10点)

問四 線④「こんなばあさん」とは、どんなばあさんですか。次のうちから選び、記号で答えなさい。(10点)

- ア 先のことを気楽に考えるばあさん
- イ 愛情にあふれている優しいばあさん
- ウ 思い込みの激しいばあさん
- エ 人の悪口ばかり言うばあさん

問五 線⑤「清がなるなると言うものだから、やつぱり何かになれるんだらうと思っていた」とありますが、この部分以外で、清に何度も言われているうちに、「俺」がその気になっていることが書かれている一文を文中から探し、初めの五字を書き抜きなさい。(10点)

30A

坊っちゃん (2)

氏名

組

番

得点

50

1 次の——線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。

(各2点×8)

- (1) 危険なことはカクゴの上で挑戦する。
- (2) 突然降り出した雨にぬれ、カゼを引く。
- (3) 冬休みに祖父母の住むイナカへ行く。
- (4) 叔父の店を手伝い、コヅカいをもらう。
- (5) 旅行先で家族や友人への土産を買う。
- (6) 友人の部屋の広さは六畳くらいある。
- (7) 社会人になったが、まだ前途多難だ。
- (8) 兄が出かけるついでに買い物頼む。

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

2 次の——線部の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

(各4点×4)

- (1) 品質をうけ合う。
- ア 確認する      イ 保証する
- ウ 検査する      エ 作成する
- (2) 彼の話を聞いて合点する。
- ア 納得する      イ 不審がる
- ウ 感動する      エ 否定する
- (3) 依頼を受ける気は毛頭ない。
- ア 全くない      イ 少しはある
- ウ 今はある      エ 今後はない
- (4) ご近所に気がねしながらピアノを弾く。
- ア 賛同      イ 共感
- ウ 遠慮      エ 相談

(4)	(3)	(2)	(1)

3 次の——線部の語句の意味を答えなさい。

(各6点×3)

- (1) 古代の宝飾品として珍重される
- (2) 将来何になるかの見はない。
- (3) 一方的に怒られて閉口する。

(3)	(2)	(1)

30B

坊っちゃん (2)

氏名

組

番

得点

50

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

母が死んでから六年目の正月に、おやじも卒中でなくなった。その年の四月に、俺はある私立の中学校を卒業する。六月に兄は商業学校を卒業した。兄は、なんとか会社の九州の支店に口があつて行かなければならん。俺は東京でまだ学問をしなければならぬ。兄は、家を売って財産を片づけて任地へ出立すると言いだした。俺は、 A と返事をした。どうせ兄の厄介になる気はない。世話をしてくれるにしたところで、けんかをするから、向こうでもなんとか言いだすに決まっている。なまじい保護を受ければこそ、こんな兄に頭を下げなければならぬ。牛乳配達をしても食ってられると覚悟をした。兄は、それから道具屋を呼んできて、先祖代々のがらくたを  B に売った。家屋敷は、ある人の周旋である金満家に譲った。このほうはだいたい金になつたようだが、<sup>①</sup>詳しいことはいつこう知らぬ。俺は一月以前から、しばらく前途の方向のつくまで、神田の小川町へ下宿していた。清は、<sup>②</sup>十何年いたうちが人手に渡るのを大いに残念がったが、自分のものでないから、しようがなかった。あなたがもう少し年を取っていらつしやれば、ここがご相続ができませんのと、しきりにくどいていた。もう少し年を取って相続ができるものなら、今でも相続ができるはずだ。ばあさんは何にも知らないから、年さえ取れば兄の家がもらえると信じている。

兄と俺はかように別れたが、困つたのは清の行く先である。兄はむろん連れてゆける身分でなし、清も兄の尻にくつついて九州にまで出かける気は毛頭なし、といて、このときの俺は四畳半の安下宿に籠もつて、それすらもいざとなれば直ちに引き払わねばならぬ始末だ。どうすることもできん。清にきいてみた。どこかへ奉公でもする気かねと言つたら、あなたがおうちを持つて、奥様をおもらいになるまでは、しかたがないから、おいの厄介になりましよう、と、ようやく決心した返事をした。このおいは裁

判所の書記で、まず今日には差しつかえなく暮らし  
ていたから、今までも清に来るなら来いと二、三度  
勧めたのだが、清はたとい奉公はしても、年来住み  
慣れたうちのほうがいいと言つて応じなかつた。  
(『坊っちゃん』)

問一  A に入る言葉を次のうちから選び、記号  
で答えなさい。(10点)

- ア ぜひとも連れて行つてくれ
- イ どうでもするがよかるう
- ウ 金さえ送ってくればよい
- エ 清がいるから大丈夫だ

問二  B には「ひどく安い値段」という意味の  
四字熟語が入ります。次のうちから選び、記号  
で答えなさい。(10点)

- ア 一挙兩得
- イ 一朝一夕
- ウ 二束三文
- エ 我田引水

問三 線①「詳しいことはいつこう知らぬ」の  
はなぜですか。次のうちから選び、記号で答え  
なさい。(10点)

- ア 金のことは兄に任せきりだったから。
- イ 「俺」は年若く、屋敷を相続できないから。
- ウ 「俺」は学問以外には関心がないから。
- エ 兄が「俺」に無断でやっていたから。

問四 線②「十何年いたうち」を言い換えた言  
葉を文中から九字で書き抜きなさい。(10点)


問五 『坊っちゃん』の作者は誰ですか。漢字で答  
えなさい。(10点)